

市政懇談会を開催

市民から、地域の問題点やご意見ご要望を直接聴き、それをできるだけ市政に反映させるために、7月2日から12日までの間に市内10会場で、市政懇談会を開きました。

初日の三好地区は、午前9時30分からコミセン三好で開催。同地区から部落会長、行政連絡員、住民協議会長や地元市議など、市からは森田市長以下三役をはじめ関係部課長など、合わせて約80人が出席。活発な意見交換や要望が行われました。



市長との懇談会
— 農業青年会議 —
魅力ある農業をめざして、卒直に語り合おうと五所川原農業青年会議(長尾信彦会長、会員四十五人)は六月二十五日市広域新農業センターで会員約三十人が出席し、森田市長との懇談会を開きました。

懇談会のテーマは「市の経済とこれからの農業について」。農業政策はもとより、二十一世紀の五所川原はなど、市長と会員が熱心に意見交換をしました。

市民憲章牌を設置

市では、このほど市役所前お祭り広場に、市民憲章牌を設置しました。

これは、昨年10月に市制30周年を記念し制定した市民憲章を、広く市民に知っていただくためのものです。

憲章牌は、ヒバ製で丸太で縁どりし、中央部に銘文を彫り込んだ高さ2.3メートル、横幅0.9メートルのものです。



毎号とじこんでください。後できっとお役に立ちます。

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

昭和60年

No.595

7-15

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限りない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

地域発展のカギをにぎる工業振興

—その決め手は人材の確保—

地域が発展していくためには、その地域に人が定着できる経済基盤が絶対必要です。

ところが、本市を中心とする西北地域は、これが弱いために、今日なお人口の減少が続いています。

その根本的な原因は、生産性の低い農・漁業を主体とした一次産業や公共投資に大きく頼っている産業構造にあります。

このため、今後地域の発展をはかっていくには、地域の中で最も弱いとされる

工業（製造業）を振興することが重要です。

特に本市は、西北地域の中心都市として、工業振興においても主導的役割を果たしていくことが期待されています。

経済力を表わすものは種々あり、その中で所得、人口の伸びをみると、まず本市の市民所得は、人口一人当たり年百二十八万五千元（昭和五十七年）で、県平均の九五・五パーセントと低く、また県内市部の中では最低です。

本市の経済力は 県内市部で最低

先人に学べ



佐野 実さん

「己を治め、彼を知り、変に応ずる。」これは、江戸幕末の傑士佐久間象山の辞で、私が座右の銘として居るものです。

私共の業界も、昨春秋

口からの需要不振から設備投資も抑制傾向にあり、一部を除いて生産計画の対応を急いでいるなど、変動が激しく厳しい状況下にあります。

近年、各自治体もハイ

テクだ、バイオだと流行語のようにして、企業誘致に熱心ようですが、実態はともかく決して良好な進捗ではなさそうです。やはり己なり彼なりを知らなければ、企業立地はあり得ないのでは……。

良く耳にする「農業は社会の母なり」の一次産業王国論には、それなりの歴史的背景があるにしても、もし、それが新しいものへの取り組みや脱皮、転換へのブレーキ要素になっているとすれば、旧態然とした取り残された古代王国のみに、始終しなければならぬでしょう。

例えば、農作物ははかり知れない自然の脅威の

中で、人間が知恵と汗とで土壌づくりを専念し、成育のための基礎を固めている訳です。企業づくりもまた、人間という土壌に、教育という肥料なり環境条件が、延々コツコツと加えられて、始めてできるものです。

教育は学校だけでなく、社会なり、いや家庭にあって真の教育があり得るものと思います。

自己啓発、研鑽などの言葉がありますが、象山の師の吉田松陰は、生まれた時から厳格な父の英才教育をひたすら受け、野良仕事の中に父のそらんじる論語を暗記し、十才で藩士の師となった。貧しいが故に、書物も記

帳も道具も十分に無かつたけれど、心は知識や人格陶冶への渴望が、己を治める「原動力」となっていたようだ。現代風にいえば、ハングリー精神ですね。

先行き不透明な時代といわれる現代の経済活動の中では、その根底を知る情報なりを早く正しく把握し、相手（彼）を知らなければならぬ。

企業活動も人間も、常に変化する環境に、適切に対応して好機転、果敢に「変に応じ」なければ……

「備えありて憂いなしの感ですわね。」——津軽東芝音響株式会社工場長の佐野実さんは、このように語ってくれました。

一方、活力のパロメーターでもある人口の伸びをみると、昭和五十年から五十五年までの五年間の伸び率は三・二パーセントと、これもまた県平均よりも低く、県内市部の中では最低となっています。

(下表)

工業を振興するには

工業を振興する方法としては、地域工業の再生と域外からの工業導入が考えられます。本市の現状をみると、地域工業の発展素地は乏しく、その再生には、多くの課題と時間を要します。しかし、若

市名	1人当たり市民所得				総人口			人口増加率 (50~55) (%)
	実額 (千円)		所得水準(県平均を100)		50	55	59	
	昭和56年	57	56	57				
青森市	1,754	1,787	136.9	132.9	264,222	287,594	293,811	8.8
弘前市	1,549	1,632	120.9	121.3	164,911	175,330	176,653	6.3
八戸市	1,749	1,901	136.5	141.3	224,366	238,179	241,240	6.2
黒石市	1,266	1,298	98.8	96.5	38,796	40,755	40,510	5.0
五所川原市	1,175	1,285	91.7	95.5	49,040	50,632	50,541	3.2
十和田市	1,389	1,493	108.4	111.0	54,365	58,886	60,764	8.3
三沢市	1,577	1,694	123.1	125.9	37,437	39,962	41,335	6.7
むつ市	1,505	1,417	117.5	105.4	44,646	47,610	49,224	6.6
青森県	1,281	1,345	100.0	100.0	1,468,646	1,523,907	1,527,363	3.8

総人口の昭和50年、55年は国勢調査、59年は県推計です。

年層の流出防止やUターン者の受け皿づくりには、早期に多様な雇用の場を確保しなければなりません。

このため、当面域外からの工業導入、つまり企業誘致が本市にとつては急務であり、積極的に推進していく必要があります。

地域発展に寄与する誘致企業

本市に立地する誘致企業は、現在五社で、誘致企業全体では本市の工業出荷額等の約八十三パーセント(昭和五十九年)を占めています。

また、周辺町村に立地するこれら誘致企業の子会社や協力会社をも含めると、従業者数は約二千百人に達し、地域の雇用と経済に大きく寄与しています。

人材立地型への移行

近年の企業立地の新たな傾向としては、これまでの工業団地や道路等の受け皿整備と労働力の供給は当然のこと、単なる労働力ではなく、専門知識や技術を備え

た労働力の確保を重視した「人材立地型」に変わりつつあります。

地域全体での取り組みが重要

現在、企業誘致は全国の地方自治体の

激しい誘致競争下にあります。地理的条件の劣る本市は、受け皿整備のみでは誘致競争に勝つていくのは困難で、そのため、企業が最も重視する人材を育成、確保していくことが必要です。

その方法の一つに、職業訓練短期大学校や既立地企業等の協力を得て、産・学・官一体による人材育成をはかることが考えられます。それによって、地域

技術の向上がなされ、関連産業の立地が進むものと思われまます。いずれにしても、地域全体での取り組みと熱意が不可欠であり、本市に立地して良かったという評価が得られてこそ企業の集積が高まるといえます。

誘致企業

企業名	立地年月	業種	代表者 又は工場長	所在地
北越ヒューム管(株) 五所川原工場	昭和43. 6	窯業・土石	小野 豊次	市内 大字高瀬字雲雀野11-1
森羽紙業(株)	46. 8	パルプ・紙	佐々木ぬえ	大字姥苅字桜木28-1
津軽東芝音響(株)	48. 8	電気機械	桜井 可清	大字吹畑字皆瀬19
日立東部セミコンダクタ(株) 津軽工場	48. 10	〃	秋山 寛	大字漆川字鍋懸156
青森ファッション(株)	59. 4	衣服	鈴木 和雄	大字川山字千本38

誘致企業を訪ねて

今後の企業誘致の参考とするために、現在本市に立地している誘致企業五社を訪問し、本市に立地しての感想などを伺いました。

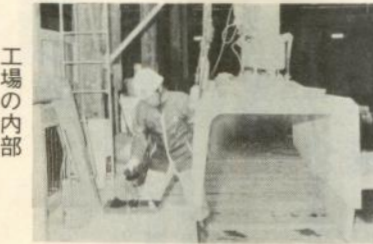
- ①本市を選ばれた理由は?
- ②立地されてお感じになったことは?
- ③地域や行政に望まれることは?
- ④企業誘致を進めるにあたっての地域に対するアドバイス

北越ヒューム管(株)五所川原工場

○製品 ボックスカルパートなどのコンクリート製品
①西北地域の中心城市だから(製品が公共事業向けのため、地域の中心に立地)
②立地当時は、機械を使いこなせる技能者や生産方法を理解できる人がいないため、その訓練に時間を要した。現在は、特に不便を感じることはない。



北越ヒューム管(株)五所川原工場



工場の内部

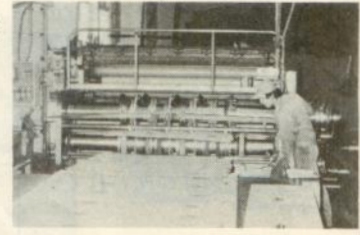
③地域発展のための基盤整備を積極的に実施してもらいたい。また地元で生産さ

れた製品をなるべく地元で消費するように考えてもらいたい。



森羽紙業(株)

①当社の関連会社が本市に立地していたことと、屏風山パイロット事業によるスイカ、メロン、ブドウ等の梱包材の需要に対処するた
②豪雪地帯であるので、当初は工場の建築や除雪の対応で苦労した。
③製造品が、地域の産業と関連が深いので、通年的に活発な産業活動ができるよう産業振興を積極的に進め



工場の内部

森羽紙業(株)

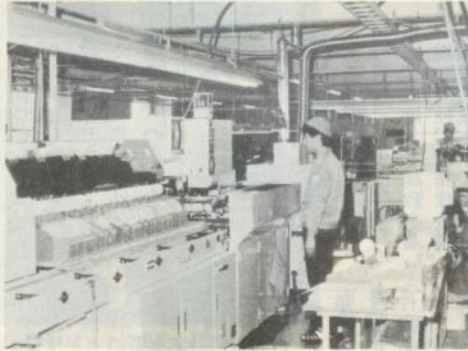
○製品 耐水性段ボールケースなどの段ボール製品

津軽東芝音響(株)

○製品 ヘツドホーンズ テレオなどの音響製品の技術的下地のあった前進会社の経営を引継いだことと、将来とも安定的に労働力を確保できると見込まれたから。②安定的に労働力の確保ができた。



津軽東芝音響(株)



工場の内部

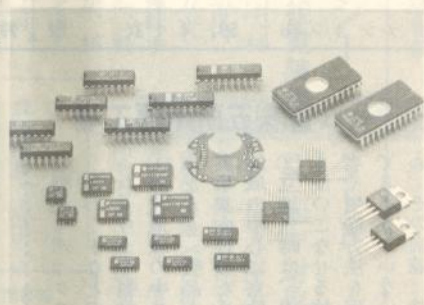
③なんとといっても、人づくりです。年々レベルが低下しつつあるように思える。企業内でも育成するが、基本的教育までは対応できない。

あらゆる工業製品が精密小型化、ハイテク化していく中で、研究開発が企業に不可欠なので技術者の育成、確保のため、大学の工学部等の研究開発機関を設置すること。

④企業が魅力を感じる思いきった優遇措置を実施しないと、企業立地は進まないのでは。

日立東部セミコンダクタ(株)津軽工場

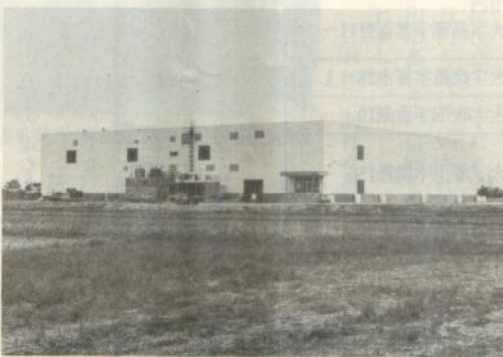
○製品 IC、超LSI (超大規模集積回路(注参照)) ①安定的に労働力が確保できると見込まれたから。東北の将来性とポテンシャル(潜在可能性)を評価。県、市など地域の熱心な対応。②安定的に労働力が確保できた。



製品のIC、超LSI

③技術者を含む人材の育成が必要です。それには工科系大学もしくは工学部をぜひ。青森職訓短大に

は、大いに期待している。関連産業を育成して産業の複合化を進めなければ、立地企業のみでは波及効果が小さい。道路整備の遅れが、地域のイメージを悪くするので、その改善を望む。



日立東部セミコンダクタ(株)津軽工場

④企業を誘致する場合でも、地域の文化、教育の水準が問われます。地域性があるにしても、もう少し外に目を向けて、何事にもスマートに、そして地域イメージを良くすることが大切。

青森ファッション(株)

○製品 ワンピースなどの婦人服 ①安定的に労働力が確保できると見込まれたから。西北地域の中心都市として、将来の発展が期待されるから。②安定的に労働力が確保できた。



青森ファッション(株)



工場の内部

③就職するにあたって、職人としての自覚が足りないように思う。家庭や学校等において理解させてもらいたい。冬期間の交通の確保を完全に。

(注) IC・超LSIとは?

IC—(集積回路)—数ミリ四方のシリコン結晶上に、最大1,000個近いトランジスタを回路ごと写真技術を使って、写し込んだもの。超LSI (超大規模集積回路)—ICを数段、高密度に写し込んだもので、トランジスタ、コンデンサーなどの素子を約15万6千個以上集積したもの。

IC・超LSIとも産業の米といわれるぐらいテレビ、コンピューター、電卓などあらゆる電気製品に使われています。

毘沙門支所 移転のおしらせ

毘沙門・長富コミュニティセンターの完成に伴い、七月六日から、毘沙門支所を次の場所に移転しました。
住所 毘沙門字熊石三十の二
電話 ③⑥二〇一三番



やめよう無謀運転

七月〜八月

「交通死亡サマー作戦」展開 事故抑止

県内の交通
事故による犠
死者は、異常
なまでに増加
しています。
また、例年
これからの夏
場は、本県で
は交通死亡事
故や重大事故
が多発する季節となってい
ます。このため、県警では
七月から八月末までの二カ
月間、「交通死亡事故抑止
サマー作戦」を実施します。
交通安全防止には、警察
はもろろんのこと、私達市
民も総力をあげて取り組ん
でいかなければなりません。
▽重点事項

飛び出す前に 安全の確認を

① 飲酒・暴走運転の追放
② 若年運転者対策の強化

自転車は、安全の確認を
飛び出す前に
安全の確認を

自転車は、安全の確認を
飛び出す前に
安全の確認を

「炎い」を招いてしまします。
事故を防ぐために、ぜひ次
のを守りましょう。
○一時停止 いったん止ま
って左右の安全を確かめま
しょう。
○青信号になっても一気に
飛び出すことは大変危険で
す。あなたを守るのは、あ
なた自身です。必ず止まり、
安全を確認する習慣を身に
つけましょう。

夏休み…… 子供の交通事故 をなくそう

夏休みに入ると、子供た
ちは解放感などから、せつ

暴力団追放対策六者会議



暴力団追放対策六者会議

かく身についた正しい交通
ルールや安全な動作を忘れ
がちになります。
家族みんなで、交通安全
について話し合いましょう。

しよう」とあいさつ。

席上、松島町町内会連合
協議会、地区防犯協会松島
町支部から、市と警察署に
暴力団追放の決議文が手渡
されました。

この日は、暴力団追放の
チラシの配布（市連合町内
会、毎月十五日の「少年の
日」にミニパレードを行う
（防犯協会）、隣接町内会と
合同で暴力団追放署名運動
を実施（松島町町内会連合
協議会）などが明らかにな
りました。

また、次回の会議から、
飲食業界の代表にも出席を
していただき、この運動へ
の参加と理解をお願いする
ことになりました。

さらに、今後長期にわた
る運動を進めていくために
は、各団体を統括する「本
部」の設置が必要との意見
が出され、煮つめていくこ
とになりました。

暴力団事務所の移転を機
に盛り上がったっている暴力団
追放運動を、今後どのような
に進めていくかを話し合う
ため六月二十九日、市役所
で警察署、防犯協会、連合
町内会、松島町町内会、田
園町町内会、市の六者によ
る対策会議が行われました。
会議では、まず森田市長
が「今後とも協力して暴力
団追放に向かって頑張りま

暴力、迷惑行為をなくするため 小さな暴力でもすぐ110番へ

五所川原市 五所川原地区防犯協会 五所川原警察署



お知らせ

市民絵画教室へどうぞ

本年度も本市出身の伊藤正規画伯を講師にお迎えし、市民絵画教室を次の日程で開催することになりました。

皆さんのおいでをお待ちしております。

- ▷日時 7月29日(月)~31日(水)3日間
▷場所 市中央公民館
▷講師 伊藤正規画伯(梅田出身、日展無鑑査、光風会審査員)
▷内容 洋画、水彩画、素描
▷受講料 無料。ただし、用具等は各自持参のこと。
▷参加対象 中・高校生及び一般
▷申し込み先 7月26日(金)までに市教育委員会社会教育課(☎352111 内線250番)へ。

「学校体育施設」開放

市では、学校体育施設「体育館、グラウンド」の解放を次の要領で行います。

- ▷開放校 市立中央小学校
▷期間 6月から12月まで
▷運動種目及び利用時間
バレーボール 毎週火曜日
軽スポーツ(キックボール) 毎週水曜日
卓球 毎週木曜日
ソフトボール 毎週月・水・日曜日
バレーボール、軽スポーツ、卓球は、午後7時から9時まで。
ソフトボールは、午前10時から12時まで。
お問い合わせは、市教育委員会社会教育課(☎352111番 内線248番)へどうぞ。
ソフトボールは、成田房子さん(☎359259番)へお問い合わせください。

高校生ボランティア 募集対象

▽募集対象 県下の高校生ボランティアを必要とする施設、団体等

▽募集締切り 七月二十四日(水)

▽申し込み方法 所定の用紙に記入の上、市教育委員会社会教育課(☎352111 一番 内線二五〇番)へ

▽その他 ①登録は無料ですが、万一の事故に備え、原則として「スポーツ安全協会傷害保険」、ボランティア活動

等行事保険」に加入していただきます。

②登録に際しては「ボランティアバンク推進委員会」で、書類等で検討の上承認します。

第13回げんと忌

参加者募集

今年も郷土の生んだ偉大な作曲家上原げんとを偲ぶ「げんと忌」を開催します。

▷日時 八月四日(日) 午前十時三十分

▷場所 津軽フラワーセンターげんと碑前

当日、午前十時に、市民

文化会館前からバスがまですので、ご利用ください。

▽懇話会 会費二、二〇〇円。懇話会に参加ご希望の方は、七月三十一日までに申し込み下さい。

▽問い合わせ先 市中央公民館(☎35六〇五六)

陸奥湾一周駅伝 競争選手選考会を実施

第三回陸奥湾一周駅伝競走大会が、十月六日(日)に行われます。

大会に出場する市代表選手の選考会を次のとおり開きますので、出場ご希望の方は、ふるって

ご参加してください。

▽選考日時 第一回 七月二十一日(日) 第二回 七月二十八日(日) 午前九時から、北斗グラウンドで受け付けます。

▽選考場所 北斗グラウンド(野球場)

▽競技方法 ①男子中学生約三千メートル。一般約六千メートル②女子中学生、高校一般約三千メートル

▽参加資格 市内居住者、高校・大学生は本市出身者

お問い合わせは、市教育委員会社会教育課(☎35二一一番 内線二四八番)へどうぞ。

ソフトボールリーグ五所川原大会

昭和60年度日本女子ソフトボールリーグ第1部・第2節五所川原大会が次のとおり開催されます。

▷期日 7月31日(水)~8月2日(金)

▷会場 市営球場

▷参加チーム トヨタ自動車、日本電装、倉敷紡績安城、ユニチカ垂井、高島屋大阪店、日本精工石部

試合日程及び組合せ

Table with 5 columns: Date, Match No., Time, Teams, and Match No. Rows include dates 7/31, 8/1, and 8/2 with specific team matchups.

トヨタ自動車3試合、日本電装3試合、倉敷安城3試合、ユニチカ垂井4試合、高島屋大阪店3試合、日本精工石部4試合

乳幼児の健康診査

- ▷場 所 市保健センター
- ▷受付時間 午後1時～1時30分
- ▷持参するもの 母子健康手帳、バスタオル。3歳児は尿検査も行いますので、当日きれいに洗った小ビンに、尿を入れてお持ちになってください。
- ▷注意 6カ月児の健康相談の際に、神経芽細胞腫(小児がん)の検査セットを配布します。
- ▷お願い 病気療養中(特に伝染性の病気)のお子さんはご遠慮ください。



健康コーナー

みんなの健康教室へどうぞ

- ▷日時 7月26日(金) 午後1時
- ▷場所 市保健センター
- ▷講師 斎藤春雄先生(斎藤産婦人科医院長)
- ▷テーマ 中高年によくみられる婦人病
- 主催 北五医師会 市民保健協議会

月 齢	対 象 児	期 日	内 容
3 カ月 児	S60年4月生れ	8月14日(水)	健康診査
6 カ月 児	S60年1月生れ	8月20日(火)	健康相談
1 歳 児	S59年7月生れ	8月26日(月)	健康相談
1歳6カ月 児	S59年2月生れ	8月27日(火)	健康診査
3 歳 児	S57年4月生れ	8月15日(木)	健康診査

▷お問い合わせは
市衛生課(☎352111 内線268・272番)へどうぞ。

愛の献血をお願いします

あなたの献血が大ぜいの人の尊い生命を救います。

期 日	時 間	場 所
7月24日(水)	午前 10時～12時	青山荘前(金山)
	午後 1時30分～4時	川要駐車場(大町)

はしか予防接種のお知らせ

市では、麻疹(はしか)の予防接種を行います。該当する子どもさんがおられる人は、お申し込みください。ただし、すでに麻疹にかかった子どもさんは、接種の必要はありません。

- ▷対象幼児 昭和58年1月1日から昭和58年12月31日までに生れた幼児(当日は母子健康手帳をご持参ください。)
- ▷申し込み期間 8月1日(水)～8月10日(月)(ただし日曜日は除く)
- ▷実施期間 9月2日(月)～9月10日(火)

お申し込みは、市衛生課(☎352111番 内線272番)へどうぞ。

講演会

- ▽日時 七月三十日(火)午後一時～二時三十分
- ▽場所 ホテルサンルート五所川原
- ▽講師 楠本憲吉(俳人)
- ▽演題 人生の四季
- ▽入場料 無料
- 主催 (財)青森地域社会研究所

浅虫水族館の展示・ショーの計画のお知らせ

県営浅虫水族館の、今年度の展示・ショー計画は次のとおりです。

- ▽種類と数 四百十四種、約九千点
- ▽特別展示
 - 夏期(七月十日～八月三十一日)「磯の生物たち」
 - 冬期(六十年一月一日～一月三十一日)「トラと名のつく魚たち」
 - ビデオコーナー(七月中旬～十一月中旬)「南極の生物」
- ▽海獣ショー 四月からイルカショーの内容が変わりました。「イルカ・フェステバル」というテーマで、よりダイナミックに、より高度な芸をさせると共に、直接お客様にステージに上っていただき、イルカに触れていたことによつて、イルカと人間の対話ができる様にしました。
- ▽特別展示水槽(七月上旬～九月上旬)「スルメイカの群泳」
- ▽海獣ショー 四月からイルカショーの内容が変わりました。「イルカ・フェステバル」というテーマで、よりダイナミックに、より高度な芸をさせると共に、直接お客様にステージに上っていただき、イルカに触れていたことによつて、イルカと人間の対話ができる様にしました。

俳句

五所川原俳句会提供

小麦穂水門越える水に翼
やませ雲三日動かず桜桃忌
万緑の光染むばかり治水の碑
六月の水暮れのこり母の郷
万緑や空にわた雲まわつた雲
ランドセル躍る下校児薄暮来る

鳴瀬 牛角
増田木巨子
三上 北人
尾崎 泉草
敦賀 晴川
山内 清祐

写真コンテスト募集

- ▽作品テーマ 四季を彩る津軽鉄道(モノクロ及びカラープリント四ツ切以上)
- ▽応募点数 制限なし
- ▽締切日 十月十五日
- ▽入賞発表 十月下旬、津軽鉄道各駅待合室、各協賛店頭で発表
- ▽送り先 津軽鉄道株式会社 写真展係(市内大町三十九番地)
- ▽審査及び賞品 全作品の版權は、津軽鉄道(株)に帰属し、応募作品は返却しません。入賞作品の該当ネガは、発表後提出していただきます。
- 市民のまつり
 - サマーフェスティバル
 - ▽日時 七月二十八日(日) 午前九時～午後四時三十分
 - ▽場所 市役所裏河川敷公園
 - ▽実施内容 サイクルコーナー、ジャズダンスコーナー、ゲートボール、パネル等展示、芸能コーナー、等催されます。多数のご参加を。
 - 詳しいことは、サマーフェスティバル実行委員会事務局(☎34七二八五番)へどうぞ。